

## 北九州市立大里柳小学校父母教師会

〒800-0032 北九州市門司区不老町二丁目1番1号

TEL 093-381-4731

### 1 会員数及び会費（平成17年度）

区分	P会員	T会員	その他の会員	計
会員数	268人	24人	14人	306人
一人当たりの会費 (年間)	6000円	6000円	0円	

### 2 収支決算

収入の部	会費納入	1,464,463円	その他の収入	967,720円	計	2,432,183円
支出の部	費目	支出額	摘要(主な用途)			
	総務費	867,861円	会議費、慶弔費、事務費、渉外費、常任費 研修費、専門委員会費、広報費、諸負担金 周年事業積立金			
	事業費	932,415円				
	その他	50,000円				
計	1,850,276円					

### 3 設けられている会則・運営規則・会計規則等

会則などの名称	制定・改正年月日	要旨
北九州市立大里柳小学校父母教師会規約	平成8年4月20日	全面改正・施行

### 4 発足から今日までのあゆみ

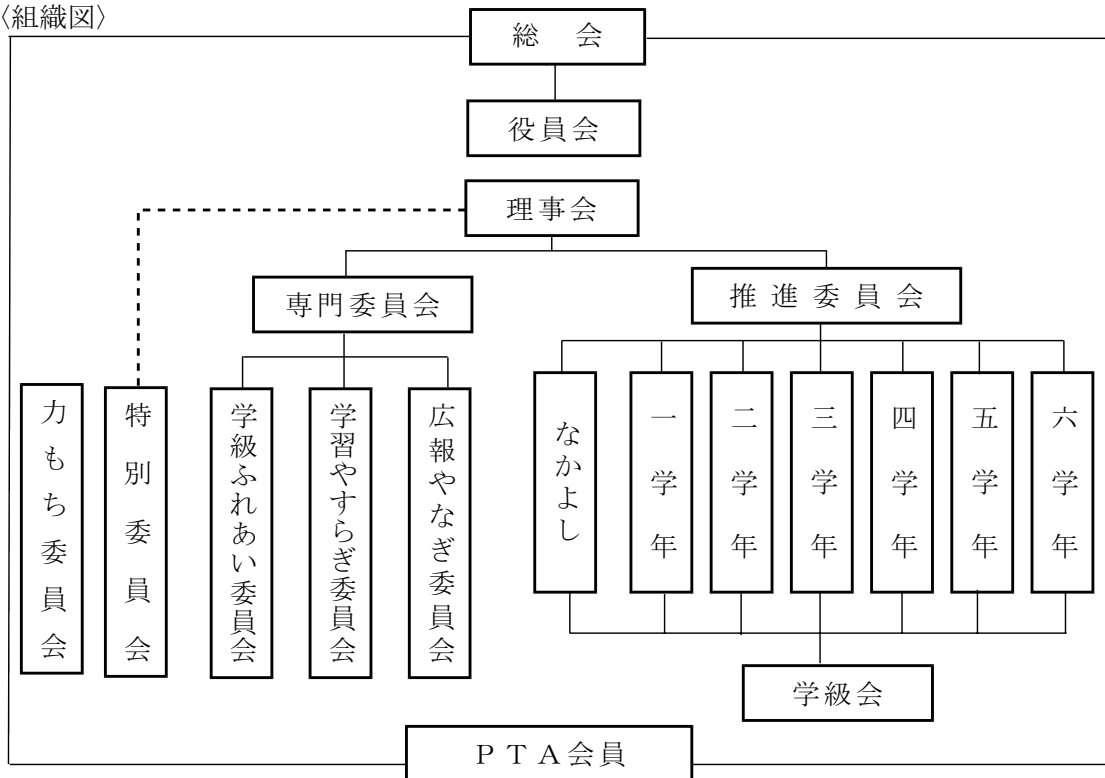
年・月	P T Aの沿革(活動のトピックスのみ記載)
大正13年	大里尋常高等小学校父母教師会 設立
昭和16年4月	大里柳国民学校父母教師会となる
昭和22年4月	門司市大里柳小学校父母教師会となる
昭和38年2月	北九州市立大里柳小学校父母教師会となる
昭和48年10月	創立100周年記念式典・記念事業挙行
平成15年11月	創立130周年記念式典・記念事業挙行

## 5 地域の概要

本校は明治6年8月、大里本町海岸旧街道の代番所跡に創設され平成18年度で133年目を迎えた。門司区大里地区では最も長い歴史と伝統を誇る学校である。校区は、大里地区の中心に位置し、JR、都市高速道路、国道3号線、同199号線と交通の便のよいところである。JR門司駅を中心に商業が栄え、その周辺には住宅地が広がっている。校区には39町内、約3000世帯、6800人が在住し、本校の卒業生も多い。そのため住民の大里柳小学校への愛校心は強く、関心も高い。

## 6 組織運営の状況

〈組織図〉



〈運営状況〉

会員の意見は、各学級の推進委員から理事会（執行部、専門委員、学校）に挙げられ、協議の上、次回の理事会で対応策等を提案している。理事会での意見交流も活発であり、会員は決定した計画に沿って協力している。各専門委員会は委員の意識も参加率も高く、自立しており独自に開催計画を立て、会長の承認の下、活発に活動している。毎年11月にはPTAバザーを開催し、児童、PTAのみならず地域の方にもたいへん喜ばれている。また、財政を支える会費の納入状況も順調である。

## 7 広報活動の状況

PTA新聞「やなぎ」を年3回発行。また、理事会便りや各専門委員会の事業報告をその度発行している。いずれも内容の報告だけでなく、会員の感想や意見を吸い上げて掲載しており、そのことが会員のPTA活動の理解に役立ち、次回の事業への積極的な参加につながっている。紙面制作によって各委員のパソコンのスキルも向上しており、結果として広報活動に効果を上げている。

## 8 学校教育の理解及び家庭教育に関する学習活動の状況

学校と家庭と地域で子どもを育てるという視点に立ち、学校の教育方針をよく理解し、全面的に協力している。運動会の準備や親子清掃では力もち委員会が中心となって活動している。また、PTAバザーでは親子で参加する姿が多く見られる。北九州市のスクールヘルパー制度には50名以上の会員が登録し、安全対策や校外学習の引率補助など、教育活動の支援を行っている。また、学級懇談会や各学年の行事では、学校教育を推進する立場で協力体制を整えてきた。校外活動や連合音楽会の交通費等については、その一部をPTAが負担し、財政的な面でも教育活動を支えている。家庭教育学級は年6回開催し、家庭教育の充実、啓発に大きく貢献してきた。内容は、子育て、人権、自己啓発、親子交流等であり、会員の意見を反映させて、持ち方を工夫している。今年度は「食育」をテーマに選び、多彩な講師を招聘し、形態を工夫し開催した。毎回定員以上の参加があり「参加してためになった」「また参加したい」との声が数多く寄せられている。

## 9 成人教育に関する諸活動の状況

北九州市PTA協議会、門司区PTA連合会、行政機関を始め、他の関係機関、団体の主催する研修会や講習会には、役員だけでなく広く一般会員にも参加を呼びかけ、PTAとして生涯教育の機会を提供してきた。参加して得た情報や知識、人との出会いが新たなPTA活動のヒントや運営につながっている。

## 10 児童の学校外生活の指導に関する活動状況

本年度からPTA主催の新事業として、夏休みに4年生の宿泊体験活動を本市野外教育施設「もじ少年自然の家」で実施した。児童の体験を豊かにし、児童同士が宿泊を通してふれあうことや、事業を支える会員同士が交流することに大きな意義があった。また、児童の校外での安全対策として、地域とタイアップした「柳の子どもを見守ろう」活動を展開している。制作したポスターは校区の至る所に掲示され、校区の方は子どもに声かけをしたり、登下校や生活の様子を温かく見守ったりしている。

## 11 地域の教育環境の整備に関する活動

朝の交通安全指導、子ども110番の家、校区危険箇所の点検、通学路点検、地域と連携した補導等の活動を定期的、或いは随時行っている。また、学警連、青少年育成協議会、自治連合会、地域会議等と連携したシンナー補導、夜間補導、啓発活動にもPTAとして積極的に参加している。道路や施設の不備、地域治安の問題等、PTAだけでは解決できないケースは、地域の団体、関係機関等に働きかけ、教育環境の改善を図っている。

## 12 今後の課題

現在の会員の協力体制を維持することと、地域の中のPTA（家庭と学校）として、地域団体との連携や地域行事への参加等を通して会員が地域の一員となって、将来的に子どもの健全育成に関わるようになることを目指して活動していくことが今後の課題である。

# 北九州市立ひびきが丘小学校PTA

〒805-0006 北九州市八幡東区諏訪二丁目7番1号

TEL 093-671-1613

## 1 会員数及び会費（平成17年度）

区分	P会員	T会員	その他の会員	計
会員数	230人	15人	0人	245人
一人当たりの会費 (年間)	6000円	6000円	0円	

## 2 収支決算

収入の部	会費納入	1,470,000円	その他の収入	279,768円	計	1,749,768円	
支出の部	費目	支出額	摘要（主な用途）				
	事務費	570,471円	会議費	負担費	渉外費	慶弔費	消耗雑費
	事業費	650,894円	備品費	交通費	通信費	積立金	
	予備費	26,248円	委員会活動費				
計		1,247,613円	修理費				

## 3 設けられている会則・運営規則・会計規則等

会則などの名称	制定・改正年月日	要旨
ひびきが丘小学校PTA規約	平成17年4月24日に一部改正	施行

## 4 発足から今日までのあゆみ

年・月	PTAの沿革（活動のトピックスのみ記載）
平成15年 4月	北九州市立ひびきが丘小学校開校 ひびきが丘小学校PTA発足
〃 〃	北九州市立ひびきが丘小学校開校祝賀会举行
平成16年	スマイル安全活動実施（学校・地域・保護者の連携）
平成16年	枝光地区連絡協議会発足（保・幼・小・中・高校の連携）
平成17年 5月	新校舎落成祝賀会举行
平成17年 5月	北九州市PTA協議会PTA新聞コンクール大会優良受賞
平成18年 6月	北九州市PTA協議会PTA新聞コンクール大会優良受賞
平成18年11月	平成18年度優良PTA文部科学大臣表彰受賞

## 5 地域の概要

本校は平成15年4月、旧大場谷小学校と旧山の口小学校を統合して開校した新しい学校である。平成16年度までは旧大場谷小学校校舎を使用し、平成17年度4月

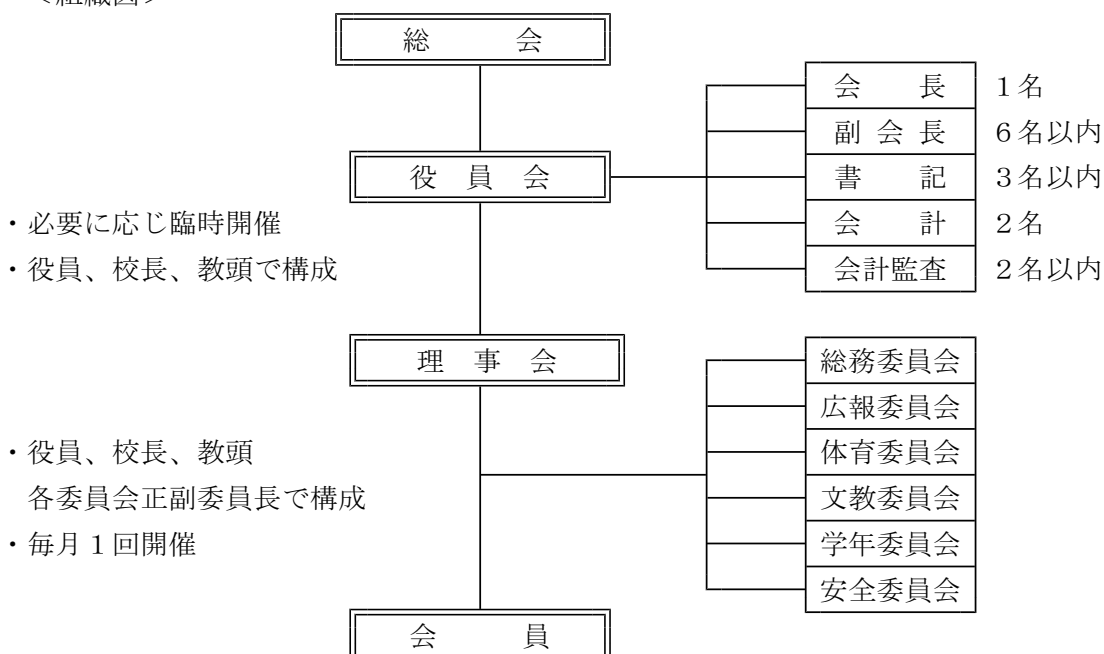
より旧山の口小学校跡地に新校舎が建設され、新たなスタートを切った。

本校は、八幡東区北部高台に位置し、遠くに皿倉山、眼下にテーマパーク「スペースワールド」を望む。近隣には、北九州市立美術館を含む美術の森や鞘ヶ谷陸上競技場がある。竹久夢二にちなんだ「夢二まつり」が、毎年9月に開催され、本校PTAも積極的に関わっている。

ひびきが丘小学校PTAは、学校と連携し、「豊かな心とたくましい体を持ち、自ら考え、最後までやり通す子どもの育成」を図るために、学校教育活動を積極的に支援すると共に、地域と学校の間を円滑にする役割を果たし、特色あるPTA活動を実践し、実績をあげている。

## 6 組織運営の状況

<組織図>



<運営状況>

ひびきが丘小学校PTAは、発足して4年目の組織であるが、保護者、教師の協力態勢は確立しており、会費の納入も確実に行われている。また、異なる環境で歩んできた両校PTAが各校のよさを取り入れ、実践を重ねながら、内部組織の整備及び他団体との相互連携を行いながら運営を行っている。

## 7 広報活動の状況

広報委員会を中心となって、PTAの活動や学校教育の様子を紹介する「ひびきが丘」「ひびきっこ」という2種類の新聞を発行し、全会員に配布している。また、理事会後に「理事会だより」を配布し、運営や各委員会の取り組みの様子について知らせている。

## 8 学校教育の理解及び家庭教育に関する学習活動の状況

学校の教育方針や教育活動を理解してもらうために、毎月学校便りを発行している。

学校便りは、枝光市民センターにも配布し、地域の方にも学校を理解してもらうための一つの手立てとして活用している。人権週間には、人権をテーマとした授業公開と講師を招いての教師と保護者との合同講演会を実施し、子どもの人権についての理解を深めた。

## 9 成人教育に関する諸活動の状況

文教委員会が中心となって、『子育て親育ち 広げよう ふれあいの輪』をテーマに家庭教育学級を実施している。親子関係や家庭のあり方を考えたり、教養を高めたりする活動を中心に、食育講座、栄養士による講話、人権学習などを行っている。また、研修視察や給食試食会を実施し、会員の親睦を深めている。さらに校区の2つの学校（1小、1中）、枝光市民センターと連携して三校合同講演会を実施し、講師の先生から子育てについての指導・助言を受けた。

## 10 児童・生徒の学校外生活の指導に関する活動状況

学年委員会を中心に、児童の登校時に朝の声かけ（あいさつ及び安全指導）を実施している。また、安全委員会を中心に、校区の危険箇所に関するアンケート調査を実施し、犯罪被害防止と安全確保に役立つ「安全マップ」を作成し、各家庭に配布した。

さらに、枝光地区連絡協議会が、各学校の安全マップをもとに、中学校校区全体に広げた安全マップにまとめた。

不審者対策や児童の非行防止として「スマイル安全活動」を実施している。活動内容としては、①全家庭（地域の方にも協力をお願いしている）に「スマイル安全活動」という腕章を配布し、校区に外出の際に、腕章を着用してもらう。②校区内を車や自転車で通行する際は、「スマイル安全活動」のプレートをフロントガラスや自転車のかごなどに置いてもらう。このような活動を通して、児童に何かあった時に、声をかける目印になるようにしている。また、ひびきが丘小学校の校区に腕章をしている人やプレートを付けている人がたくさんいることで、抑止効果を高めている。

## 11 地域の教育環境の整備に関する活動状況

枝光市民センターを拠点として、子どもの居場所づくりを目的とした「枝光こどもひろば」の開催、枝光二区青少年育成会主催の「生き生き子ども講座」の開設を行っている。また、枝光二区文化祭や「夢二まつり」への参加・協力を通して、地域との連携を深めている。PTA主催の活動としては、体育委員会が中心となって「親子ふれあいスポーツ大会」を開催し、親睦を深めている。

## 12 今後の課題

今年度より、全世帯がPTAの委員を経験するように家庭数を半数に分け、2年に1度は、PTAの委員を担当するようにした。しかし、委員になっても、会議等の活動の場に1度も出席しない委員もいる等、主体的活動が進められていないことが今後の課題である。

## 福岡市立筥松小学校父母教師会

〒812-0069 福岡市東区郷口町16-1

TEL 092-621-1692

### 1 会員数及び会費（平成18年度）

区分	P会員（人）	T会員（人）	その他の会員（人）	計
会員数	515	34	0	549
一人あたりの年会費（円）	4800	4800	0	

### 2 収支決算（平成17年度）

収入の部	会員収入	2,645,600円	その他の収入	計	3,344,544円
	繰越金	582,484円	116,460円		
支出の部	費目	支出額	摘要（主な用途）		
	総務費	836,895円	事務手当て・消耗品・会議費他		
	事業費	721,051円	各委員会活動・広報紙発行・通信費他		
	研修費	121,000円	市P・区P・九P研修会		
	その他	1,135,030円	負担金・慶弔費・渉外費・児童奨励費他		
	繰越金	530,568円			
	計	3,344,544円			

### 3 設けられている会則・運営規則・会計規則等

会則などの名称	制定・改正年月日	要旨
福岡市立筥松小学校父母教師会	昭和49年4月1日 平成3・11・16年	施行 一部改正（細則を含む）

### 4 発足から今日までのあゆみ

年・月	PTAの沿革（活動のトピックのみ記載）
昭和15年12月17日	校名 福岡県糟屋郡筥松尋常高等小学校と決定
昭和22年 4月 1日	福岡県福岡市立筥松小学校と改称・父母教師会結成
昭和47年10月	創立30周年記念緑化事業完成
昭和49年 4月 1日	福岡市立筥松小学校父母教師会規約施行
昭和50年11月 3日	PTA福岡市教育委員会表彰
昭和53年～平成7年	ベルマークショウワノート各賞受賞・表彰 全国最優秀賞・全国1位・九州地区1・2・3位表彰
昭和61年 9月	東区PTA連合会研修会場
平成 3年 11月	創立50周年記念式典（PTA主催）
平成 4年 11月	創立50周年記念事業花壇造園植樹完成
平成11年 9月	東区PTA研修集会会場
平成14年 4月	読み聞かせボランティア「こぐまのへや」発足
平成15年 10月	九州ブロックPTA協議会団体表彰受賞
平成16年 11月	日本PTA全国協議会会長賞受賞
平成18年 2月	県教育委員会表彰

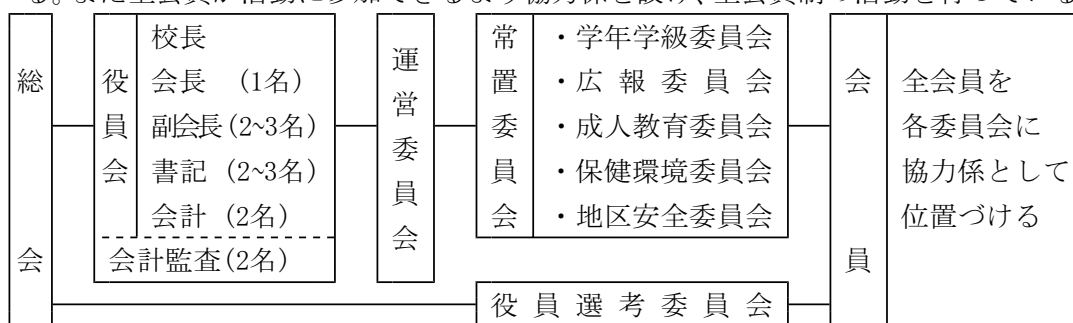
## 5 地域の概要

本校は、市東部の箱崎を中心とした旧市街地とその周辺の旧農村部としての歴史があり、宇美川・綿打川・須恵川の3つの川に囲まれた自然豊かな校区である。また、博多織、博多曲物、博多にわか伝承等伝統・文化にも恵まれている。

JR箱崎駅の高架事業を契機に再開発が進められ、「管松校区まちづくり協議会」をはじめ、公民館や自治連合会の方々が管松のまちづくりのために努力している。

## 6 組織運営の状況

本校の父母教師会は、役員会と5つの常置委員会で運営委員会を構成し、それぞれの委員会活動やその他のPTA行事・学校行事等が円滑に行われるように活動している。また全会員が活動に参加できるよう協力係を設け、全会員制の活動を行っている。



## 7 学校教育の理解及び家庭教育に関する学習活動の状況

- 広報誌「はこまつ」 PTA 新聞「らくだ山」

年2回発行「はこまつ」と年数回発行「らくだ山」を通して、PTA活動や子どもたちの様子や家庭教育についての情報を知らせている。

- 『保護者参加型体験学習』・・・学年学級委員会の活動の一つとして行っている。

学年ごとにスポーツレクリエーションや親子合唱、昔のおもちゃ作りなどの工夫を凝らした計画を立てて実施している。親子・教師のよきふれあいの場となっている。

- 『給食試食会』・・・保健環境委員会の活動の一つとして行っている。

学校栄養士や調理業務員の先生からお話を伺い『食』について学習をし、意識向上を図っている。また、保健環境委員会ではベルマーク集計作業も担い保護者同士の交流を深めることにも役立っている。

- 『夏の除草作業』

毎年夏休みには、校庭の除草作業も実施している。運動場を使用するスポーツクラブチーム等の参加も有り、子ども達も一緒に汗をかきながら作業をしている。

## 8 成人教育に関する諸活動の状況

より良いPTA活動を目指し、保護者と教師が協力し合って互いに磨き合い向上心を高める研修の場や家庭の大切さを学ぶ場を作る取り組みを行っている。講演会開催を始め、人権セミナーや人権教育研修会・社会見学など実施している。

- 読み聞かせボランティア『こぐまのへや』… 成人教育委員会の協力係がサポート朝の読み聞かせを月に2・3回、昼の読み聞かせは、季節にあったテーマを決め、



折り紙・手遊び・手話・歌・演奏などの催しを取り入れながら学期に2回行った。

また、県立図書館や福岡市教育委員会主催の講演会・研修会・読み聞かせのイベント等に参加して、ボランティアメンバーの意識を高め、更なる質の向上を目指している。

## 9 児童・生徒の学校外生活に関する活動状況

### ○ 『子ども見守り隊』

学校内外の危険から子どもたちを守るために、地域の諸団体の協力も得ながら、見守り活動のボランティアを実施している。腕章やステッカーを日常から身に付けていただき、学校内外だけでなく、校区全体での安全確保を進めてもらっている。今年度は、定例会での講演や低学年の防犯教室を行った。

### ○ 『安全確認チェック表』

長期休業前や連休前には、子ども達の安全確保のために配布し、家庭でコミュニケーションを図りながら、事件・事故などが未然に防げるように呼びかけを行っている。

### ○ 朝の挨拶運動と旗当番

朝の挨拶運動と危険箇所等での旗当番を、毎月5日・15日・25日に実施している。挨拶運動は学級ごとの当番とし、旗当番は各町内で当番を決めて行っている。

### ○ 六校連絡協議会

近隣の小中学校(箱崎中・箱崎清松中・箱崎小・東箱崎小・松島小・筥松小)が連携しPTA活動の充実や児童・生徒の健全育成を図るための情報交換や交流等を行ったり、筥崎宮で毎年行われている“放生会”の夜の巡回指導を行ったりしている。

## 10 地域の教育環境に関する活動

### ○ 地域懇談会

地区安全委員会を中心に、保護者、地域（公民館・自治協議会等）とが連携して地域懇談会を開催し、各町内の通学路や危険箇所等の情報交換を行い、子ども達が安全で安心して通学や遊び、調べ学習等ができる環境を作るための活動を行っている。

### ○ PTA花壇

PTA花壇を正門横の道路沿いに設けている。筥松校区は美しい町づくりに盛んに取り組んでいることもあって、地域の方々とも協力し合って環境美化に努め、子ども達の登下校時や来校者の方にも、和んで頂ければと季節の花を植えている。

## 11 今後の課題

社会的諸事情により仕事を持つ保護者が増え、また会員が減少してきたこともあり、全会員が活動しやすいようなPTA組織の見直しが必要となってきた。

近年は事件など全国各地で多発しているため、当校区でも安全面を更に強化していくことが必要と考え、地域や学校・各家庭とより連携を深めて安全活動に力を入れた取り組みをしていきたい。

## 筑紫野市立原田小学校父母教師会

〒818-0034 筑紫野市美しが丘南2-10-5

TEL 092-926-1156

### 1 会員数及び会費（平成17年度）

区 分	P 会員	T 会員	その他の会員	計
会員数	486 名	27 名	0 名	513 名
一人当たりの会費(月額 250 円) (年額)	3,000 円	3,000 円	0 円	

### 2 収支決算（平成17年度）

(単位：円)

収支の部	前年度繰越金 年会費	443,385 1,525,000	利息・その他	130,608	計 2,098,993
	支出額		摘要（主な用途）		
支出の部		403,304	運営費（事務費/負担金/会議費/渉外費/他）		
		804,666	活動費（委員会費/広報費/園芸費/他）		
		158,351	児童活動費（教育活動費/児童活動費）		
		334,736	周年行事積立/その他		
	計	1,701,057			

### 3 設けられている会則・運営規則・会計規則等

会則などの名称	制度・改正年月日	要 旨
筑紫野市立原田小学校 父母教師会規約	平成 3 年 4 月 27 日	
	平成 5 年 4 月 24 日	一部改正
	平成 18 年 5 月 9 日	一部改正
原田小学校父母教師会内規	平成 9 年 5 月 2 日	
	平成 16 年 5 月 8 日	一部改正
原田小学校父母教師会 慶弔に関する細則	平成 9 年 5 月 2 日	
	平成 14 年 5 月 11 日	一部改正
原田小学校校友会規定	平成 3 年	

### 4 発足から今までのあゆみ

年・月	PTA の沿革（活動のトピックのみ記載）
平成 3 年 4 月	筑紫野市立原田小学校開校 原田小学校父母教師会発足
平成 12 年 10 月	創立 10 周年記念式典
平成 15 年～17 年	筑紫野市青少年育成事業「原田小すこやかネット」活動開始
平成 15 年～18 年	原田っ子フェスタ開催（学校、地域、保護者の連携）
平成 15 年～18 年	長崎街道 原田宿時代行列協力（衣装・小物製作、着付等）
平成 17 年 2 月	ベルマーク教育助成財団より感謝状授与
平成 18 年 11 月	優良 PTA 文部科学大臣表彰受賞

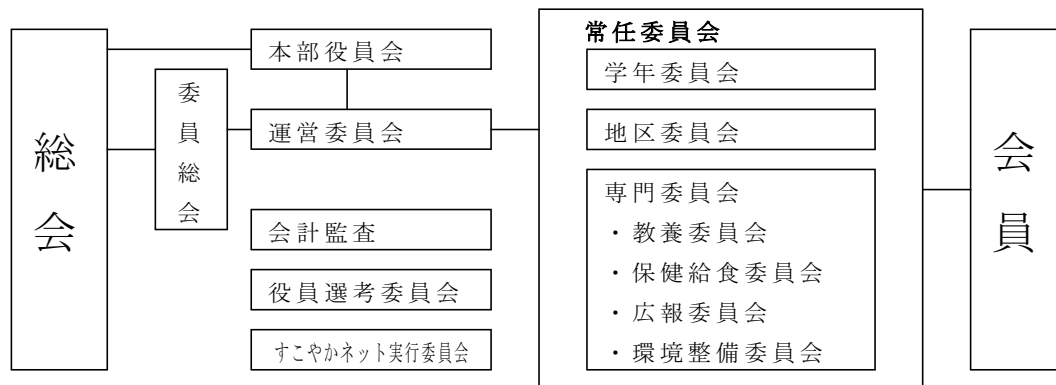
## 5 地域の概要

本校地区は、福岡都市圏の南端にある筑紫野市の丘陵地に位置し、住宅地として開発された新興住宅地（九州最大規模）があり、旧来の純農村地域がわずかに残っているだけで、全体的に都市化現象が著しい所である。福岡市、久留米市のベッドタウンとしての住宅が多く、ほとんどが通勤者である。この地域には、埋蔵文化財（五郎山古墳国指定文化財）が多く、発掘調査も行われ整備されてきている。また、江戸時代の頃、この地原田は、長崎街道が通っていて、宿場町として栄えた所でもある。保護者は、学校教育に関心が高く、PTA 活動、地域活動に積極的に取り組んでいる。

## 6 組織運営の状況

組織は、役員会、常任委員会（学年・地区・教養・保健給食・広報・環境整備）を設置し、役割分担を行う共に、役員と常任委員会代表で構成する運営委員会を定期的に開催し、連携の取れた有機的な組織運営を図っている。

【原田小学校父母教師組織図】



## 7 広報活動の状況

PTA新聞「はるだ」の発行を通して子ども達の学校生活や学習の様子、PTA・学校の取り組みを広く紹介する活動を展開する。PTA新聞「はるだ」の発行学期1回、計3回発行。

## 8 学校教育の理解及び家庭教育に関する学習活動の状況

11月に開催した長崎街道「原田宿」時代行列は原田小学校、原田区、美しが丘南区、原田小PTAの共催事業。6年生の総合的な学習の時間として、筑前六宿の一つである原田宿についての取材・調査活動をおこない、実際に時代衣装を身に付け、原田宿を遊歩し、郷土の歴史に対する認識と愛着を深める取り組み。時代衣装衣装作り、着付け、出店、交通安全と場所の確保など共催して実施している。

教養委員会主催の七夕会。本校多目的ホールは、子供たちの熱気と笹の葉の心地よい香でいっぱいだった。同じくクリスマスコンサート。今年は、お隣の筑紫野南中学校ブラスバンドのみなさんを招いてのコンサート。企画、準備、運営、それから楽器の搬入搬出をおこなう。

子ども達の豊かな心を育むため、子ども達の教育環境を整え、美しい学校作りを展開することを目的に、環境整備委員会が学校内の花植え（花植え計画・準備・実施）。入学式・卒業式の花。委員による児童玄関のデコレーション制作と設置。

## 9 成人教育に関する諸活動の状況

保健給食委員会による救急法講習会。心肺蘇生法及びAEDを用いた除細動（電気ショック）の実習を、筑紫野南消防署の皆さんにおいでいただき実施した。また年2回のインターネット、文書作成について教養を高める活動をおこなう。

## 10 児童・生徒の学校外生活の指導に関する活動状況

10月21日（土）に第5回原田っ子フェスタの開催。ギネスに挑戦、バザー、模擬店、イベント、屋外イベントを実施。PTAのみなさま、すこやかネット協力者（親父の会）、美しが丘南自治会、原田区、地域有志の会、児童ボランティア、地域の方々の支援のもと大盛況のうちに無事終わることができた。

原田小すこやかネット実行委員会を中心に活動する「すこやかネット事業」は、子どもたちに「夢・希望・感動」を体感して欲しい、そして地域と学校、保護者がひとつになり、子どもたちのすこやかな成長を見守っていきたいという願いから、筑紫野市青少年育成事業の補助を受けて平成15年からスタートした。地域と連携を図りながら、子どもたちに様々な体験活動の場や機会を提供し、子どもたちの心豊かな成長を見守っていく事を目的として展開。本年度は、お楽しみ日帰りキャンプ、原田っ子フェスタ模擬店出店、ドッジボール大会&ぜんざい会を実施。

環境整備委員会主催の親子愛校作業。年1回、9月の第一土曜日の早朝に行う。毎年多数の参加があり学校が一段と美しくなる。

## 11 地域の教育環境の整備に関する活動

原田小児童の安全を守る会議。全校一斉の集団下校引率の後、PTA本部役員、地区委員、校長、教頭、教務主任、保健主事、集団下校担当が会議室に集まり、通学路の危険箇所や110番の家の設置状況、子どもたちの下校の様子について意見交換をし、子どもたちの安全確保について話し合う。1学期当初と3学期当初の2回実施。

中学校校区のそれぞれの特色あるPTA活動の情報交換や三校合同で子どもの安全確保の取組みについての会議を実施。一つは中学校校区（原田小、筑紫東小、筑紫野南中）三校交流会近隣公民館に各学校の校長、教頭、教務主任、PTA本部役員が一同に会し、学期に1回、年3回実施。もう一つは、三校校区子どもを守る安全会議。近隣公民館に各校区の区長、青少年補導員、民生委員、校長、教頭、教務主任、PTA本部役員、地区委員が一同に会し、学期に1回、年3回実施。

## 12 今度の課題

これまでの学校、家庭、地域の連携をさらに進め、安全であたたかな地域の中で、子どもたちが夢を持ち健やかに成長することを目指す。

## 春日市立春日原小学校父母教師会

〒816-0803 春日市春日原南町4丁目37-1

TEL 092-581-1827

### 1 会員数及び会費（平成17年度）

区 分	P会員	T会員	その他の会員	計
会員数	364人	23人	0人	387人
一人あたりの会費(年額)	3,600円	3,600円	0円	

### 2 収支決算（平成17年度）

収入の部	会費収入1,392,000円	その他の収入 760,699円	計 2,152,699円
支出の部	費 目	支出額	摘要（主な使途）
	運営費	412,347円	負担金、事務費、慶弔費、会議費、交通費等
	活動費	282,520円	各委員会活動費、研修費、行事負担金
	その他	347,293円	教育研究費、PTA災害補償制度、新規事業準備金
	計	1,042,160円	

### 3 設けられている会則、運営規則、会計規則等

会則などの名称	制定・改正年月日	要旨
春日市立春日原小学校父母教師会規約	昭和36年4月1日	施行
	平成3・8・9・10・14・15・18年	一部改正
春日原小学校父母教師会慶弔規定	平成15年5月16日	施行

### 4 発足から今日までの歩み

年・月	PTAの沿革（活動のトピックスのみ記載）
昭和36年 4月	春日原小学校創立 春日原小学校父母教師会設立
平成 2年	創立30周年記念事業実施
平成 5年	「わくわくフェスタ」開催（1回/年）
平成10年	「わくわくフェスタ」を「原っ子まつり」と改称
平成12年	創立40周年記念事業実施
平成17年	「原っ子守り隊」「ばるPメール」発足 “新”家庭教育宣言事業「原っ子トライ」実施
平成18年	一人一役事業「レッツ、プチボラ」開始 “新”家庭教育宣言事業「原っ子トライ」実施
同 11月	優良PTA文部科学大臣表彰受賞 （社）日本PTA全国協議会会長表彰受賞

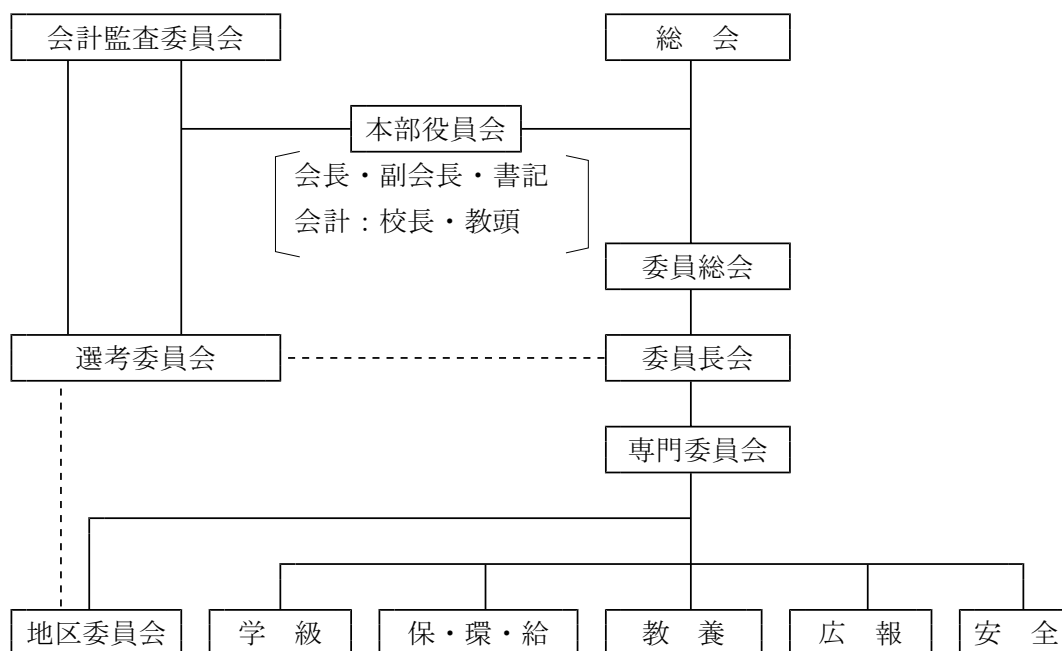
## 5 地域の概要

本校は、春日市の東南部に位置し、校区内に西鉄とJRの二つの駅を持ち、天神・博多へのアクセスが良い都市部の中規模校である。そのため、マンションや社宅等が建ち並び、転出入者や核家族が多い地域でもある。教育熱心な保護者が多く、PTA活動にも協力的で、行事等も円滑に行うことができている。また、地域も子供達の育成に熱心である。

## 6 組織運営の状況

本校PTAは、会長1名、副会長2名、書記3名（内1名は学校より）、会計3名（内1名は学校より）からなる役員会をはじめ、6つの専門委員会で構成されている。年1回の総会をはじめ、委員総会、委員長会、各専門委員会を随時開催し、連携のとれた組織運営を図っている。

また、保護者、教師全て参加のもと、会費納入も確実に行われている。



## 7 広報活動の状況

広報委員会より広報誌『若くさ』を発行（各学期1回）。PTA活動や学校教育の様子、職員紹介等を掲載し、会員間の情報の共有化、PTA活動の周知を図っている。広報誌は、公民館を通じて地域の方々にも親しまれている。

また、会員には、その都度、文書でPTA活動の報告を行っている。

## 8 学校教育の理解及び家庭教育に関する学習活動の状況

○教養委員会では、地域の専門家やボランティアの保護者と協力して、児童へ本の読み聞かせを実施している（各学期1回以上）。

○保環給委員会では、保護者を対象に、毎年夏休み前に、普通救命講習会を開催してお

り、夏季の児童の安全確保に努めている。また、学校給食の理解の促進、親子の話題作り、家庭料理の重要性や栄養の理解を深めるため、学校栄養士と協力して、給食試食会も実施している。

## 9 成人教育に関する諸活動の状況

各々の専門委員会が協力し合いながら、会員の資質の向上を目的に人権学習・防犯・子育て等をテーマに成人教育講座を実施している（年に1回）。

なお、今年度は“食育”をテーマに講座を開催し、40名の参加があった。

## 10 児童の学校外生活の指導に関する活動状況

福岡県PTA連合会主催の『“新”家庭教育宣言』事業を『原っ子トライ』として実施し、講演会を開くとともに、日々の生活態度を振り返る機会を設け、家庭学習の充実、基本的な生活習慣の向上を図っている。

## 11 地域の教育環境の整備に関する活動

本校は、特に安全面において教育環境の整備を図っている。児童の安全確保と、防犯意識を高めるため、地域住民・警察と連携し『春日原小学校児童安全対策協議会（通称：原っ子守り隊）』を組織。長期休業時には夜間パトロールを実施し、校区内の危険箇所情報の共有化を図っている。またその情報をもとに、本校の防犯マップである「イエローマップ」を作成し、全会員に配布している。さらに、迅速な情報の通達、即時の対応を目的として昨年構築した電子メール配信システム（通称：ばるPメール）には、会員の半数以上の登録があり、不審者情報等の配信や長期休業時の情報手段として役立っている。他にも、登校時の交通安全指導、下校時を中心に防犯パトロールも行い、児童や保護者の安全意識を高めることに努めている。なお、「防犯腕章・プレート」の各会員着用の推進、「防犯ポスター」の張替、「子ども110番の家」の整備・新規設置等、視覚的な防犯環境の充実も図っている。

バザー・ゲーム・遊び等を通じて、子供達が楽しい時間を過ごせるようにとの趣旨のもと、学校・家庭・地域が連携し、開催している『原っ子まつり』は、それぞれの親睦を深める良い機会にもなっている。

## 12 今後の課題

『原っ子守り隊』、『ばるPメール』の充実を図り、児童の安全対策を確実なものにする。また、『原っ子まつり』を充実させ、楽しみながら協力し合えるPTA作りを行う。さらに、本年度たちあげた一人一役活動『レッツ、プチボラ』を成長させ、PTA活動の一層の活性化を図る。そして、学校・家庭・地域が連携し子供達を見守っていくことができるPTAを目指す。

## 立花町立白木小学校父母教師会

〒834-0084 八女郡立花町白木 1 5 5 6

TEL 0943-35-0014

### 1 会員数及び会費（平成18年5月1日現在）

区 分	P会員	T会員	その他の会員	計
会 員 数	60人	13人	0人	73人
一人当たりの会費 (年会費)	4,000円	4,000円		

### 2 収支決算(平成17年度)

収入の部	会費収入 292,000円	その他の収入 156,815円	総収入 448,815円
支出の部	項 目	支出額	摘 要
	総務費・研修	274,815円	会議費、印刷費、旅費、会員研修、事務費
	委員会活動費	174,000円	P T A新聞、育成会費、講演会・演劇会、他
	合 計	448,815円	

### 3 設けられている会則・運営規則・会計規則等

会則などの名称	制定・改正年月日	要 旨
白木小学校父母教師会規約	昭和43年 5月 1日	
	昭和49年 5月 1日	一部改正・役員の任期
	昭和54年 5月 8日	一部改正・実行理事構成
	平成 9年 5月 1日	一部改正・常置委員会構成
	平成10年 5月 1日	一部改正・役員選出事項
	平成15年 4月26日	一部改正・代議員設置事項

### 4 発足から今日までのあゆみ

年	P T Aの沿革（活動のトピックのみ記載）
明治 7年	新民学校として西原・宮ヶ原に開校
昭和22年	新制白木小学校に改称
30年	合併により立花町立白木小学校となる。父母教師会発足
45年	創立九十周年を記念して、校歌制定
54年	創立百周年記念事業として、記念誌発行、同記念碑建立
平成 7年	P T Aよりすすく山にクヌギ600本植樹
12年	「次世代IT活用未来型教育研究開発事業」研究指定
16年	長野県教育委員会視察来校、県社教センターで生涯学習実践発表
17年	大川市立大野島小学校P T A視察来校、啓林館出版HPで本校紹介
18年	学社融合実践発表（南筑後教育事務所）、小郡市教育委員会視察来校 P T Aですすく山観察道路造成、優良P T A文部科学大臣賞受賞



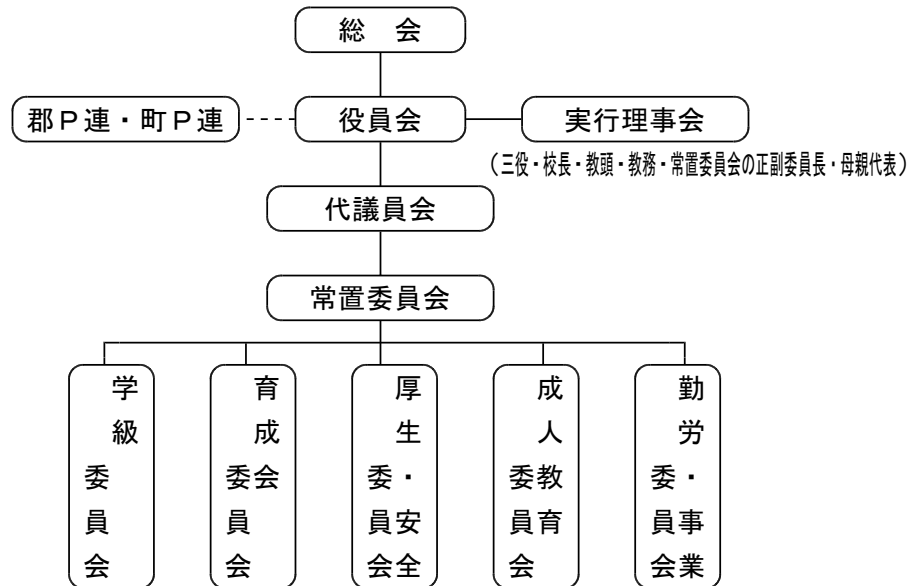
## 5 地域の概要

本校は、福岡県最南端にあり熊本県と境を有している。立花町には幹線道路として国道3号線と県道4号線が南北に貫いているが、白木地区は、県道沿いの谷間に位置する。戸数は577戸の農業（筍・梅・蜜柑・キウイ）を基盤とする地域である。三世帯同居の家庭が多く、父母、祖父母とも学校に対して極めて協力的である。しかし、この地域も過疎化が進み、小学校児童数も30年前は400名を超えていたのが、現在は100名を切るまでになった。このため、地域でも何らかの活性化に向けた取組に本腰を入れるようになってきた。具体的には、PTAを中心とする学校と、白木地区地域振興会議が共催して、地域活性化事業に力を入れている。特に本年度は、福岡県警音楽隊の招聘や「白木の秋の収穫祭」を実施し、町全体に影響を与えるほど成果があった。

## 6 組織運営の状況

- 役員会（会長・副会長・校長・教頭）・・・適時必要に応じて開催
- 実行理事会（会長・副会長・各委員長と副委員長・母親代表・校長・教頭・教務）  
毎月1回・・・代議員会の事前協議、提案事項の作成と共通理解
- 代議員会（実行理事と各地区代議員）総数30名  
毎月1回・・・PTA行事の協議、各委員会からの提案事項の承認、意見交換
- 父母教師会総会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・毎年4月開催

白木小学校父母教師会運営機構



## 7 広報活動の状況

本PTAでは、広報活動を担当するのが、成人教育委員会である。学期毎にPTA新聞「気づき」を発行している。年間通して3回となる。内容は、PTA活動や学年を振り分けて、子どもたちの声や教育活動を載せている。地域と連携を重視しているため、校区の全家庭への配布を行っているが、予算面の減少で、年々厳しい状況にある。しかし、学校からの情報がよく分かるという声を頂き、編集や配布の仕方を工夫している。

## 8 学校教育の理解及び家庭教育に関する学習活動の状況

P T Aでは、学年段階に応じた「P T A学級目標」を決め、1年間を通して目標達成に向けて努力している。また、「県下一斉親子ふれあい週間」では、全家庭が取り組み、達成率99%、参加率100%であった。今後もこの状況を維持するため、定期的に取り組むたいと考えている。

## 9 成人教育に関する諸活動の状況

6月に消防署を招いて、A E Dの講習会を実施し、器具の取り扱いについて、研修した。7月には、福岡県警音楽隊、同カラーガード隊及び八女警察署を招聘し、文化的な行事と合わせて地域防犯教室を行った。1月と2月には、西日本短期大学附属高校演劇部及び野球部による演劇会と顧問の竹島先生の講演会を実施した。今日、マスコミを通して伝え聞く高校生像とは、まるで正反対の素晴らしい意志と実践力を持った彼らの姿を、実例を出しての話は、多くの会員の心を打った。本校は、県下では珍しく高校生と、小学生の交流を行い、児童のよいお手本となっている。

## 10 児童・生徒の学校外生活の指導に関する活動状況

平成16年度より朝の登校状況について、地域からの報告として、交通指導日誌をつけてもらっている。内容は、集合状況、安全状況、挨拶状況に全体的な気付きを当番の保護者が記入し学校に報告するようにしている。この取組がなされるようになってから具体的な対応がしやすくなり、朝の登校状況が見違えるほど改善した。

## 11 教育環境の整備に関する活動

白木小学校は、県下でも極めて教育環境に恵まれた立地にある。校舎東側に学校林として約4千平米の校有地（丘陵地帯）が広がっている。ここでは、低学年の季節に応じた生活科活動や野菜づくり、3年生のキウイ栽培、4年生の椎茸栽培、6年生の竹の学習、全学年の竹の子掘りなどが展開されている。そこで、P T Aとしては、これらの活動が更に充実できるように、本年度、作業道路と観察道路の造成を行った。

また、平成15年度より学校、P T A、地域が一体となって取り組んでいる「白木の秋の収穫祭」は、地域で子どもを育てる意識の高揚につながっていると考えている。

## 12 今後の課題

今後は、更に児童数の減少が見込まれ、P T A組織の見直しが迫られている。また、町内の小中学校も同じ状況にあり、近い将来は合併なども避けて通れない問題である。このような状況をふまえ、数少ないP T A会員組織の充実を図るため、現段階から具体的な方策を打ち出ししていきたいと考えている。

## 福岡県立西田川高等学校父母教師会

〒826-0023 田川市上本町7番11号

TEL 0947-44-0313

### 1 会員数及び会費（平成17年度）

区 分	P 会 員	T 会 員	その他の会員	計
会員数	589人	51人	0人	640人
一人当たりの会費(年額)	7,800円	7,800円	0円	

### 2 収支決算（平成17年度）

収入の部	会費収入 4,689,750円		その他の収入 2,666,786円	計 7,356,536円
支出の部	費 目	支出額	摘要（主な使途）	
	運 営 費	2,786,744円	会議費、需用費、旅費視察費、	
	教育振興費	1,821,238円	事務費、負担金渉外費、行事費、	
	周年事業積立金	700,000円	慶弔費、旅費補助、校舎庭園維	
	予 備 費	0円	持費、環境衛生費、教具教材維	
	計	5,307,982円	持費、学習奨励費、生徒指導費、 図書充実費、周年事業積立金	

### 3 設けられている会則・運営規則・会計規則等

会則などの名称	制定・改正年月日	要 旨
福岡県田川高等女学校保護者会	昭和19年9月1日	保護者会からPTAへ
	昭和24年6月1日	
福岡県立西田川高等学校父母教師会	昭和24年8月31日	校名変更
	昭和40年6月5日	一部改正
	平成9年5月16日	一部改正

### 4 発足から今日までのあゆみ

年・月	PTAの沿革（活動のトピックスのみ記載）
大正6年3月19日	開校（田川郡立田川高等女学校）
昭和14年4月1日	福岡県田川高等女学校と改称
昭和19年9月1日	保護者会発足
昭和24年6月1日	保護者会からPTAへ
昭和24年8月31日	福岡県立西田川高等学校と改称
平成9年11月8日	創立80周年記念式典挙行
平成13年6月7日	福高P連会長表彰受賞
平成14年6月21日	九州高P連会長表彰受賞
平成15年8月21日	全国高P連会長表彰受賞
平成18年8月24日	優良PTA文部科学大臣表彰受賞

## 5 地域の概要

本校は、大正6年、田川郡立田川高等女学校として設立。昭和24年8月に現在の福岡県立西田川高等学校と改称され、平成19年には創立90周年を迎えようとしている。こうした長い歴史と伝統を守りながら、田川後藤寺地区にある普通科高校として、文武両道の教育を実践し、今日まで2万7千人余りの優秀な人材を世に送り出してきた。

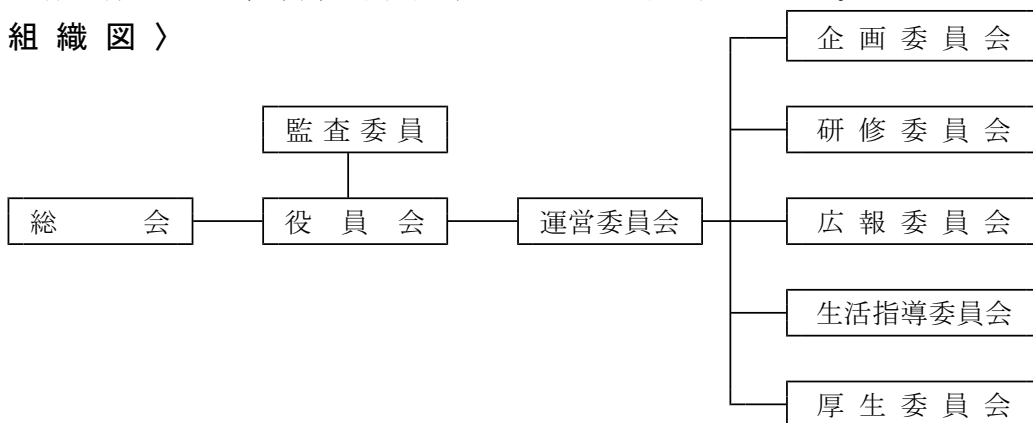
部活動では、野球、剣道、柔道、陸上、弓道、水泳、放送部等で素晴らしい実績を残し、進路指導では、生徒の多様な進路ニーズに答え、国公立大学を始め、専門学校、公務員まで数多くの合格者を出し、地域から高い評価と支持を得ている。

## 6 組織運営の状況

本校の父母教師会は、在校生の保護者及び常勤職員で組織され、加入率は、100%である。

役員会は、会長（1名）、副会長（3名）、書記（3名）、会計（3名）で組織。運営委員会は、企画、研修、広報、生活指導、厚生の5つの委員会で構成している。それぞれ学校行事の前には、役員・運営委員会を開催し、生徒たちの要望等を反映させる話し合いを持ち、年間活動計画等に基づいた活動を行っている。

### 〈 組織図 〉



## 7 広報活動の状況

広報紙（父母教師会だより）は年1回発行している。生徒の進路先の大学や専門学校等への研修視察報告や学校行事の実施状況等を広報委員会が中心となり編集している。また、保護者の声や生徒会活動の報告なども掲載し、会員が読みたくなるような紙面作りに取り組んでいる。

## 8 学校教育及び家庭教育に関する学習活動広報活動の状況

平成10年度福岡県高等学校PTA指導者研修会において、「学校と地域との交流学習」のテーマで研究発表、平成12年度は、地区研修会で「学校教育とPTA活動」のテーマで実践活動を発表するなど、その成果を保護者や生徒に報告還元している。

平成18年度は地区PTA役員研修会で「生涯学習とPTA活動」で発表を行った。

毎年5月の後藤寺神幸祭、7月の合同茶会及び後藤寺商店街の七夕祭り飾り付け、8月の校外美術展、12月の老人ホームへの訪問、そこでの地域交流演奏会など、地域の伝統行事や郷土の文化について、理解を深め、郷土を愛する心を育てる活動を行っている。

また、PTAによる研修視察を毎年行っており、大学や看護、保育、公務員に関わる短大、専門学校等を訪問し、親子間における進路選択の情報提供の場としている。

## 9 地域の教育環境の改善

「譲ろう座席、守ろうルール」をスローガンにした乗車マナー向上運動、「美しくし隊」とネーミングした保護者も参加の地域清掃奉仕活動、女子運動部員を主体とした神幸祭での「女御輿」など、生徒の地域社会への参加意欲や関心を高め、学校の活性化を図りながら地域の方々との結びつきをより深める活動を行っている。

## 10 児童・生徒の学校外生活の指導に関する活動状況

二輪車交通安全教室を毎年9月、田川自動車学校の協力を得て実施している。二輪車の安全な乗り方や実技講習を行い、生徒の交通安全意識の高揚に努めている。

また、平成18年度で13回目となる地域清掃奉仕活動を、今回も12月の終業式の日に行った。このような清掃活動を通して生徒の美化意識を高め、日ごろお世話になっている学校周辺の方々へ感謝の意を表し、地域住民との信頼関係を築いている。清掃活動終了後、生徒と保護者で豚汁をつくり、警察署員や地域の方々を招き「慰労会」でさらに交流を深めている。

## 11 各種機関・団体との連携協力

毎月、第3水曜日午前6時40分から「おはようございます」という挨拶で乗車マナー向上運動が始まる。田川後藤寺駅の改札口で田川警察署少年係の署員、田川地区西支部の少年補導員の方々とともに生徒会役員、職員、保護者がティッシュを配りながら、登校中の生徒に乗車マナーの向上を訴えている。この活動は、昭和61年10月から20年間という長い間、地域の人たちとともに続けており、生徒たちが校外で学ぶ大切な体験の一つとなっている。

## 12 今後の課題

本来、父母教師会活動の役割は、生徒の健全な成長を図るためにある。そのためには、地域との関係を緊密にするとともに、学校と家庭との連携強化が欠かせない。

本校父母教師会では、活動のマンネリ化を期さないように、教職員との研修会、同窓会との連絡会、PTA役員研修会を行うとともに、組織の強化を図り、学校、家庭、地域が一体となった取組を行っている。

生徒が自分の夢や志の実現に向けた目的意識を持ち、これからの社会の変化に対応できる心豊かで幅広い視野を持ったたくましい青少年になることを願い、以前から継続して行っている「学校と地域のふれあい活動」を今後も積極的に続けていきたい。